

年齢：80歳

性別：男性

主訴：右下の歯がぐらぐらして咬めない

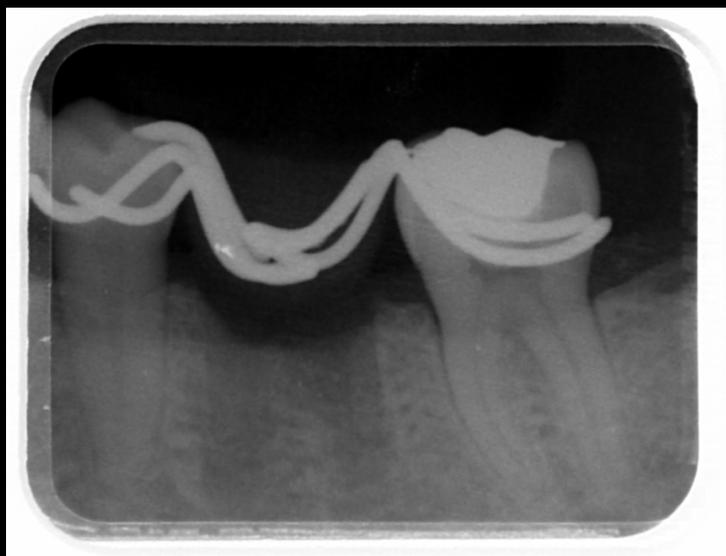
治療内容：右下の歯は重度歯周病に罹患していたため抜歯。治療後シミュレーションを行いインプラント1次手術の際歯槽骨の造成処置を併用した。3ヶ月後、インプラント2次手術の際、歯肉移植を併用し、治療後最終補綴を装着し、メンテナンスに移行した。

治療期間：5か月

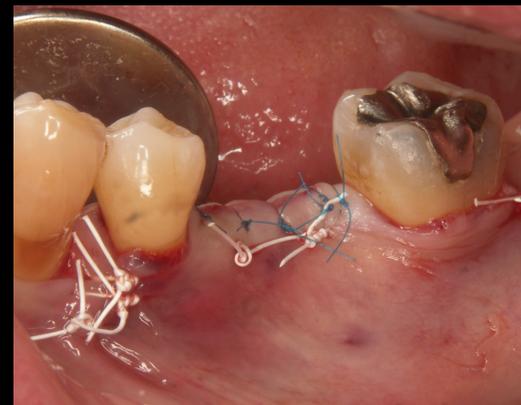
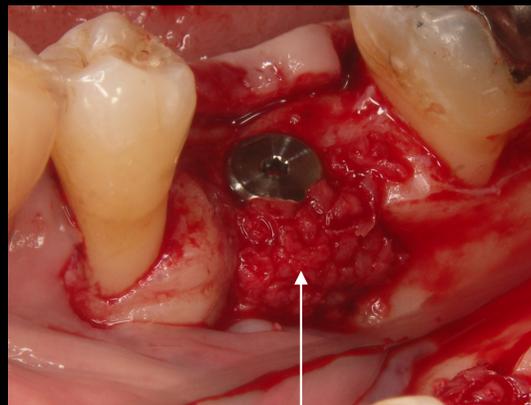
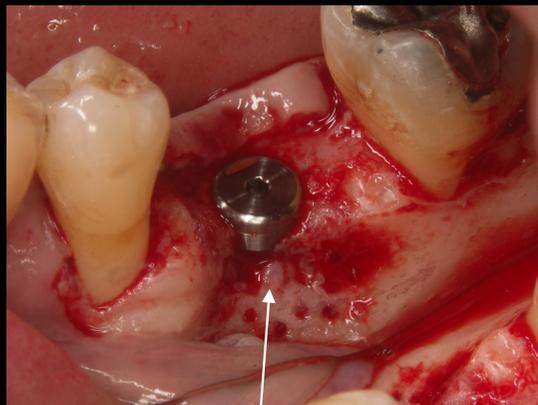
費用：450000

リスク：治療後の口腔衛生管理とメンテナンスを行わなかった場合、インプラント周囲に感染、炎症を起こしインプラントが脱落することがあります

946



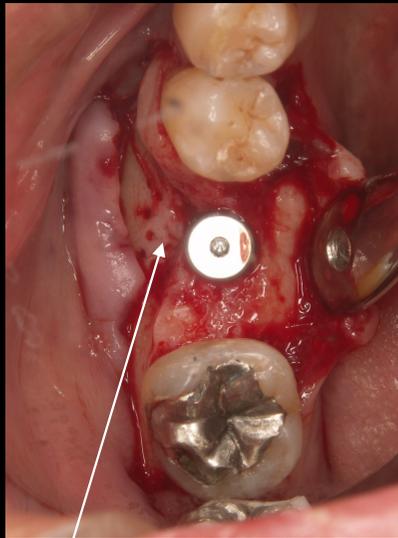
インプラント埋入 + 歯槽堤増大術併用



抜歯された部位の歯槽骨が吸収しておりインプラントを埋入しても骨の支えが少なく、インプラント上部が露出している

骨移植を併用することでインプラントを支える十分な骨が確保でき、インプラント上部の露出が無くなっている

インプラント埋入 + 歯槽堤増大術併用



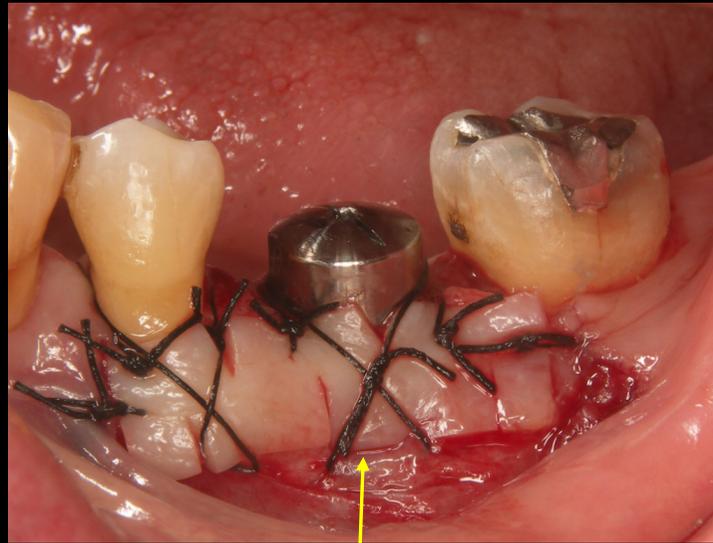
抜歯された部位の歯槽骨が吸収しておりインプラントを埋入しても骨の支えが少ない

骨移植を併用することでインプラントを支える十分な骨が確保できている

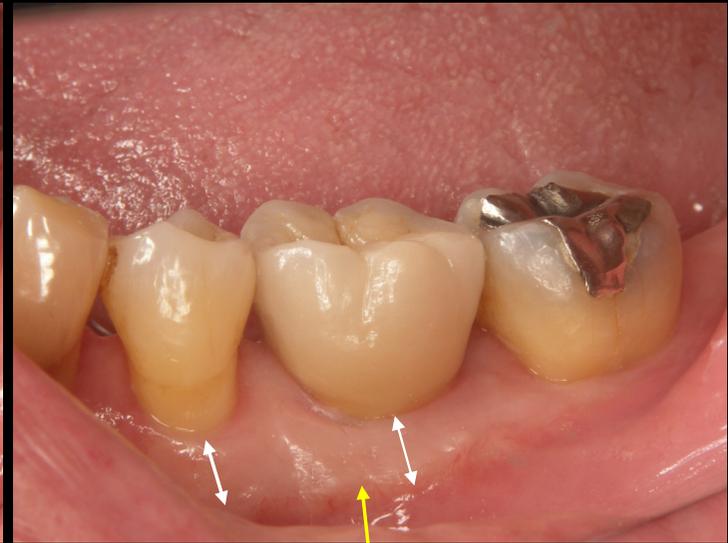
インプラント 2次手術 + 歯肉の補強手術



インプラントを細菌から守る頑丈な歯茎が少ししかない



歯肉の補強手術を併用して頑丈な歯茎を再建した



インプラント周囲に頑丈な歯茎が再建されメンテナンスしやすい環境が出来た

インプラント埋入から15年経過、インプラント埋入に理想的な手術を行い、継続したメンテナンスを行った結果、インプラントは良好に機能している



術前



術後15年